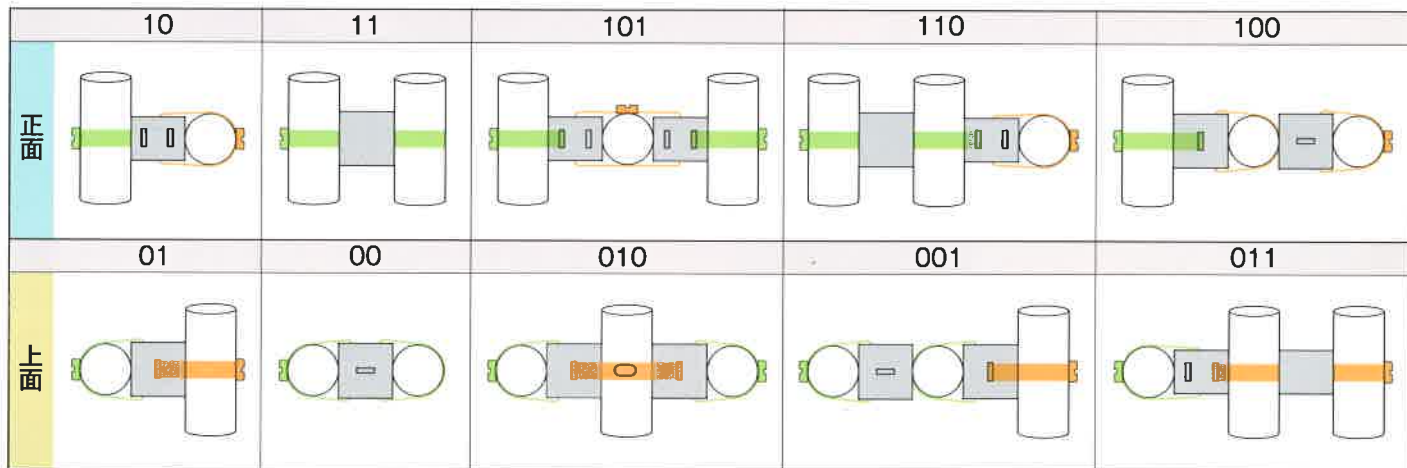


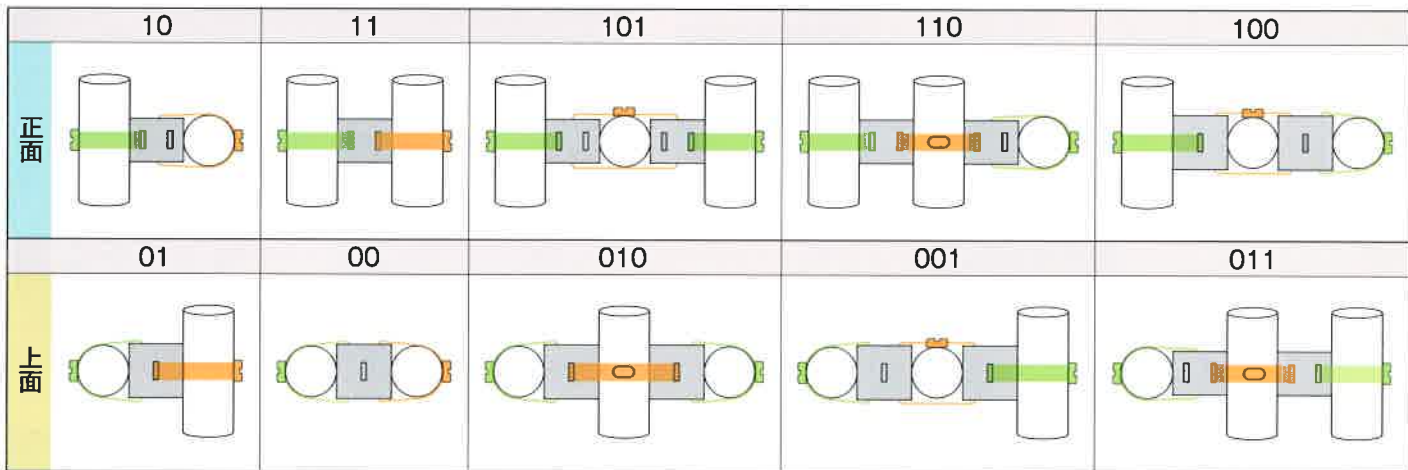
アプリケーション例(ピッチ2.5mm)

- 材質がゴム製のため、結束帯の締付け等により、形状が多少変化いたします。
- その変化を最小限に抑えるべく、使用ケーブル径別に例を2種類提示いたします。
- 下図は、正面図と上面図の2種類で同一アプリケーションを図解しております。
(図は縮尺図ではなく、イメージ図です。)
- 記載されたアプリケーションと同じものを他の組み合わせで作ることもできますが、
下図は使用する結束帯を最少本数にし、同列ブロックの厚みを20mmまたは25mmに統一を図ったものです。
- ブロックの追加や変更等に利用いただけるよう、アプリケーションにNo.を付しました。

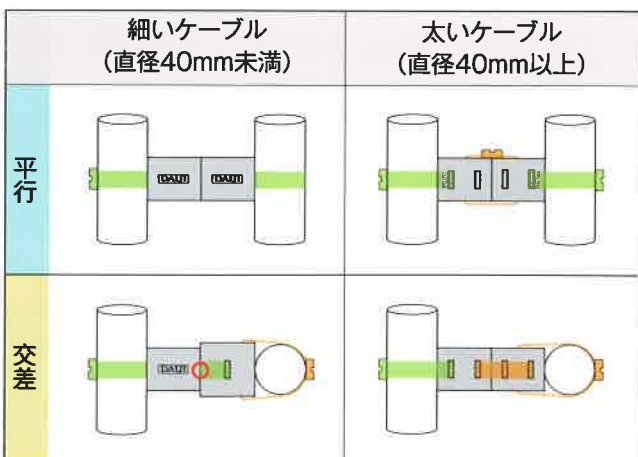
▼細物ケーブル使用の場合(直径40mm未満)



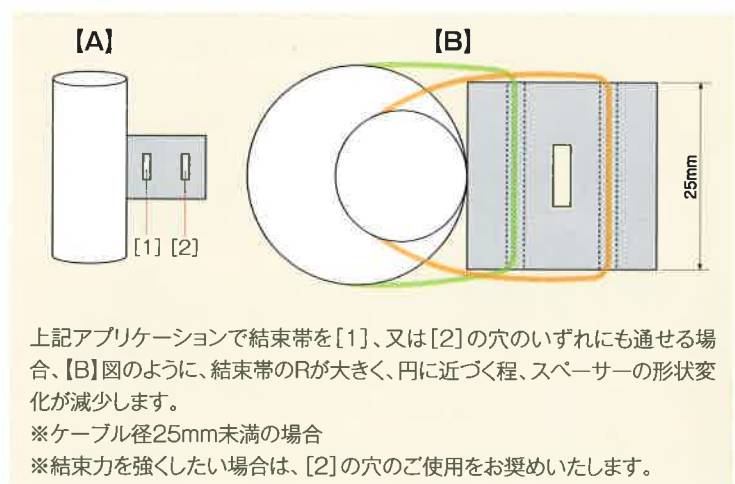
▼太物ケーブル使用の場合(直径40mm以上)



▼ケーブル間隔が広い場合(2.5mm×N個)

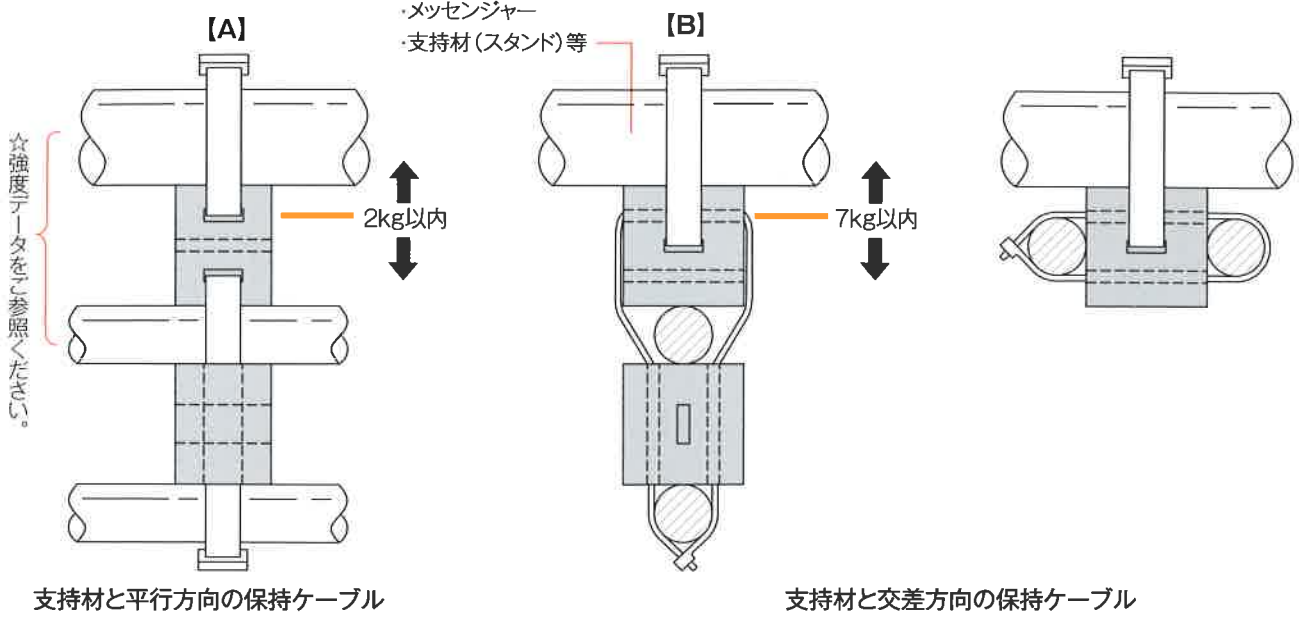


▼負荷軽減の結束方法について



○印の箇所に形状変化(多少の盛り上り)が生じます。

●吊り下げアプリケーション



●整線アプリケーション

注:隣接ブロック面 2~4面利用する場合の条件

1. 交差するケーブルがある場合のケーブル径:25mm未満
2. 交差するケーブルがなく同一方向の場合のケーブル径:50mm未満

